



VR お化け屋敷「呪刻列車」イベントの開催について

VR とはヴァーチャル・リアリティの略で、仮想現実を体験できるヘッドギアの機器を装着して、視覚で 3D 映像を音声と共に体感できるシステムを指します。去年は VR 元年と言われ、家庭用ハード機器、関連ソフトが発売され、話題となりました。

コンテンツ産業を振興する本市としましては、いち早く VR を体験できる機会を創出し、最新機器のコンテンツを多くの市民に提供したいと考え、松戸コンテンツ事業者連絡協議会の株式会社ディッジの協力のもと、本イベントが企画されました。

開催場所としては、伊勢丹松戸店で、初めて開催するバレンタインイベントの「ショコラモード 2017」とタイアップし、10 階の特設会場で同時開催いたします。



イメージ画像①（「呪刻列車」公式 WEB ページより転用）

- 日時 平成 29 年 2 月 8 日 (水) から 13 日 (月) 10 時～19 時 (最終日 17 時)
- 場所 伊勢丹松戸店 10 階
- 体験ソフト 「呪刻列車 (じゅこくれっしゃ) —松戸編—」
- 体験時間 10 分程度
- 料金 800 円
- 対象 15 歳以上
- その他 体調の優れない方、ペースメーカーご使用の方、妊娠中、またはその可能性がある方、アルコールを過度に摂取されている方はご遠慮ください。

1. 「呪刻列車」イベント本州初の開催

全国各地で VR イベントは開催されていますが、「呪刻列車」のソフトを使ったイベントは過去、宮崎市のイオンモール宮崎のみで開催しています。本市での開催が、本州初のイベントとなります。



2. 体験する「呪刻列車」の内容

舞台の設定は冬の松戸で、数年前に”ある事件”が起きた路線を走る電車の中です。主人公が、事件が起きた時刻、車輦に乗り合わせてしまった時、そこに刻まれた呪いが乗客・主人公に襲いかかります。

参加者はヘッドギアを装着し、車掌に案内された電車を模したブースに乗客として座った状態で、360° 車内で次々に展開される現象を仮想空間で体験します。



イメージ画像②（株式会社日向屋 WEB ページより転用）

3. 企画・制作

- 企画：松戸コンテンツ事業者連絡協議会（株式会社ディッジ）
- 制作：株式会社 Forces11、株式会社日向屋、株式会社 Frantiq、株式会社 KEY WEST
- 協力：伊勢丹松戸店

4. 予算

- 総経費：約 200 万円（松戸市支出分 20 万円）

【問い合わせ先】

経済振興部文化観光国際課 ☎047-366-7327